

10月から新型コロナワクチン接種をお考えの方へ

10月から全国各市町村で新型コロナワクチンの定期接種が始まります。接種対象は65才以上の高齢者と、重い基礎疾患を持つ60～64才の方です。接種費用の一部は国が助成し、個人負担は最大約7,000円ですが、一部の市町村では独自に補助を出し、さらに安い接種費用にしているところもあります。しかし以下の理由から、新型コロナワクチンのこれ以上の接種はおすすめしません。

新型コロナワクチンを打った後の健康被害はどんどん増え続けています

新型コロナワクチン接種による予防接種健康被害救済状況

累進進達受理件数	12,004件
認定件数	8,180件
死亡認定件数	843件

うち**60歳以上の死亡は662件**（2024年9月27日厚生労働省発表）

厚生労働省「**医療機関からの副反応疑い報告状況について**」

コロナワクチン接種後死亡者数

2,204人

副反応の報告者 37,091人
うち重篤者 9,014人

*2024年7月29日厚生労働省発表（2024年4月21日報告分まで）

ワクチンの予防効果はなく接種後の健康被害も不明です

このワクチンは新型コロナ感染症が流行した時に**緊急**に作られ、政府が全国民に打つように強力に勧めたものですが、動物実験しかしていないワクチンもあります。また感染予防、発症予防効果はほとんどなく、重症化予防どころか、健康を害する人がどんどん増えていっています。

定期接種と言えども接種は「**任意**」です。この秋以降の新型コロナワクチン接種は、ご自分のために、大切な人のために慎重に考えましょう。

2024年10月
全国有志医師の会代表 藤沢 明德
HP <https://vmed.jp>